

幼稚園名 苛小牧聖ルカ幼稚園

- <評価基準> A よくできている B ほぼよくできている  
 C あまりよくできていないので、一部検討を要する  
 D まったくできていないので、改善を要する

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）		
全職員が、園の教育理念、教育方針を理解するために、ミーティングを繰り返し、共通理解を持つように努めている。  園児を中心にして、子供の気持ちを受けとめ、幼児理解をすることに努めている。  地域の幼児教育センターとして、保育終了後の預かり保育等も取り入れ、保護者から信頼されている。 園長や教職員が、厳しく自己評価をしている。研修を深め、さらに質の向上を目指して経営を進めたい。多忙な日々であるが、保育者としての専門性を高めるために、意欲的に研修・研究をすることを期待する。		A
評価領域ごとの特記事項		
1、園の教育目標	キリスト教の精神に基づいた、豊かな感性、強い意志と体づくり、優しい心等、明確である。	A
2 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画	三本の柱、園内の研修、地域との交流、小学校との連携等取り組みが明確である。	A
3、評価項目の達成及び取り組み状況	評価項目の達成や、取り組みはよいと思う。研修を深め、さらに工夫して、よりよい取り組みができると望む。	B
4、園長の経営姿勢について	園長は、責任者として、教育課程に基づいた、幼児教育をするように配慮している。教職員体制の充実にも努めている。	A
5、教師の指導姿勢について	教師としての自覚をもって、幼児教育をしている。特別支援の必要な園児にも配慮している。さらに研修を深めたい。	B
6、日常の幼稚園での主な活動について	活動内容が多いが、子ども聖歌隊や、食育活動等、よく指導している。森の幼稚園等で、自然に触れさせている。	A
7、幼稚園の主な行事について	行事が多いが、保育者は、幼児の実態に合わせて、よく指導している。幼児も、各種の行事を楽しんでいる。	A
8、幼稚園と家庭の連携について	保護者との信頼関係を保つために、話し合い、便りや電話等でも丁寧に連絡している。	A
9、園の情報公開について	ホームページ等を活用して、日々の園の様子を知らせている。保護者は園の様子が理解できて、安心する。	A
10、保護者の活動について	サークル活動等、保護者が自主的に活動している。	A
11、今後取り組むべき課題	ホームページや手紙、参観日、安全管理、異なった支援の必要な幼児に対しの教育等、課題がある。	A

\* その他 評価基準 A・B は、大きく変わらない。さらに期待して B とした。 A であっても、さらに向上を目指し、研修・研究を深めることを期待する。